

議事録要旨

審議会の名称	令和5年度 第6回 豊見城市上下水道事業審議会	
事務局	豊見城市役所 上下水道部 参事監 高良 忍	
開催日時	令和5年11月17日(金) 10:00~12:00	
開催場所	豊見城市役所 3F 第3会議室	
出席者氏名 (委員)	<p>同審議会規定第3条第1項</p> <p>◇第1号委員(学識経験者)</p> <p>平敷徹男(琉球大学名誉教授 外)</p> <p>加藤壮一(日本下水道事業団 教授)</p> <p>◇第2号委員(利用者代表)</p> <p>宜保勝美(豊見城市女性会)</p> <p>◇第3号委員(各種団体・法人関係)</p> <p>上原直彦(豊見城市商工会 会長)</p> <p>國吉久美(豊見城市商工会 女性部長)</p> <p>津森義弘(豊見城市自治会長会 とよみ自治会長)</p>	
欠席者氏名	<p>◇第3号委員(各種団体・法人関係)</p> <p>平良智秀(社会福祉法人おもと会 特別養護老人ホーム すみれ 施設長)</p>	
事務局職員	<p>豊見城市役所上下水道部</p> <p>大城上下水道部長、高良上下水道部参事監、比嘉総務課長、金城総務班 長、新垣施設課長、安谷屋下水道工事班長、平良上水道工事班長</p>	
会次第	<p>1.開会</p> <p>2.経営戦略の改定について</p> <p>3.その他 ・今後の日程について</p> <p>4.閉会</p>	
時間	担当	シナリオ
10:00	司会	<p>1.開会、資料の確認</p> <p>それでは、定刻になりましたので令和5年度第6回豊見城市上下水道事業審議会を開催いたします。</p> <p>前回の審議会において、「適正な水道及び下水道使用料の水準検討に係る諮問について」は、徳元市長に答申書を手交しております。現在、条例改正の諸手続きを進め、R6.4からの下水道使用料改定を目指しております。</p> <p>前回の審議会からは、もう一つの諮問「豊見城市上下水道事業経営戦略の改定(見直し)について」について、審議しております。また、審議をよ</p>

		<p>り深めるため、審議会日程についても 2 日間追加しておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>では、審議会に入らせていただきますが、始めに、本日使用いたします資料を確認させていただきます。資料につきましては、「経営戦略の改定について」の資料及び本日の会次第、前回の議事要旨の資料を配布しております。また、上下水道事業の経営戦略案の資料を配布しております。</p> <p>→配布資料の確認</p> <p>本日は、経営戦略について、わかりやすく説明を行い、改定に向けての審議の参考にしていただきたいと思いますと思っております。</p> <p>今回の審議会についても、会議は非公開とし、議事録は発言者を特定されない形でホームページにて公開することと決定しております。配布しております議事要旨については、市ホームページにて掲載しておりますので、報告といたします。</p> <p>それでは、豊見城市上下水道事業審議会規程第5条第2項に基づき、平敷会長に進行していただきたいと思います。それでは、平敷会長よろしくお願ひいたします。</p>
10:05	会長	<p>2. 経営戦略の改定について</p> <p>おはようございます。</p> <p>それでは、事務局より資料の説明をお願いいたします。</p>
10:07	事務局	<p>2. 経営戦略の改定について</p> <p>*配布資料の説明</p>
10:15	会長	<p>2. 経営戦略の改定について</p> <p>事務局の資料説明、ありがとうございました。</p> <p>経営戦略の改定資料につきましては前回審議会においても案を確認しております。今回は、すでに策定している令和 2 年度版の内容をお示ししながら、今回の改定内容を説明しておりますので、とても理解しやすくなっているものと思います。</p> <p>水道事業においては、令和 2 年度と同じで収支均衡が図られていることから料金改定については、行わず、継続して検討する旨を記載し、追加で新聞報道でもありますとおり、沖縄県企業局の料金改定の時期、内容等と鑑み、今後、検討する内容となっております。その他に、再生エネルギーや賃貸している旧水道庁舎の取扱や DX(デジタル・トランスフォーメーション)などについても記述する予定です。</p> <p>下水道事業については、水道事業からの借入金の解消目的に使用料改定を行い、今後も段階的な経営改善を行う旨を記載しております。</p>

		<p>総務省のマニュアルや国補助金交付要件などとも照らしあいながら改定を行う必要があると思いますが、各委員の皆様からのご意見などもありますでしょうか。</p>
	会長	<p>2. 経営戦略の改定について 事務局より追加で経営戦略の説明などもありますでしょうか。</p>
10:20	事務局	<p>2. 経営戦略の改定について</p> <p>経営戦略については、令和4年にひな形に“原価計算書”が追加されております。この表を作成し、水道料金と下水道使用料の金額が適正なのかどうかについても記載していきたいと考えております。</p> <p>大まかな経営戦略の内容が本日説明した内容となり、追加で原価計算書を作成し、料金等の適正可否について、追記する予定です。</p> <p>その後、答申内容の精査を行い、最終2月の審議会にて市長への答申を予定しております</p>
10:45	会長	<p>2. 経営戦略の改定について</p> <p>ご説明ありがとうございました。</p> <p>これまでの審議内容を中心に取りまとめられております。水道事業については、現行通りの事業推進を行いながらも、今後、継続的に下水道事業会計への貸付金を行った場合、自らの事業運営に影響が出ることや今後の更新事業を行うにあたっては、給水収益と同程度の約14億円の運転資金の確保を目標とすることなどの他、新聞報道等でもありましたとおり、現在、沖縄県企業局が市町村への水道料金を3割程度値上げ検討していることから、現行の料金体系を維持する予定ですが、今後の収支状況や社会経済情勢の状況を勘案しながら、継続して検討しますとの記載があります。</p> <p>下水道事業につきましては、平成17年度以降、使用料改定しておらず、近年、収益的収支が赤字になるなど、経営指標が軒並み経営改善を必要であることを示している状況であります。そこで、本日、答申する使用料改定を中心とした内容で取りまとめられております。また、中長期的な視点で段階的な経営改善を行う旨についても併せて記載されております。</p> <p>今回は、冊子方式ではなく、総務省が示しているひな形を活用し、経営戦略を取りまとめております。</p> <p>改めて、各委員の皆様よりご確認したい事項はありますでしょうか。</p>

質疑、意見等

・今回の使用料答申については、今後の豊見城市下水道事業が、長期的に持続的な運営を安定的に行うに必要である使用料改定についての内容であったが、新聞報道では見出して「値上げ」との記載となっている。少し違う印象を与えないかという気持ちになる。

・経営戦略期間 10 年間と長期間となることから慎重に検討する必要性から審議会を 2 回追加し、審議を行う。

・令和 2 年度以降の厳しい社会経済情勢を更に反映した改訂版を策定。豊見城市は先行して取り組んでいる。総務省からの支援も活用し加藤先生を招聘。他市町村より先行している。

・豊見城市水道事業は、供用開始 40 年間を超える。漏水が発生している場所はあるのか。

⇒R4 年度に管路調査を行い、現状把握は行っている。事業認可で H23 年度～R8 年度に実施している補助金対応。それ以外は単費。R7 年度以降に今後の事業計画を検討。

・予想していない漏水事案はあるのか。

⇒実際のところ、漏水事案はある。その都度、対応している。

・収益収支 1 営業費用(2)修繕費が同じ金額を引っ張っている。突発的修繕は含んでいるのか。将来的な収支計画なので、詳細は見積もれないと思うが、突発的修繕に対応する予算なども検討を要する。

・水道事業の財源目標について、事業資金を 14 億円留保するとあるが、県への受水価格、電気料金高騰、そもそも足りるのか。これまでは物価や賃金も安定していた状況。更新の必要性も出現していく中、この状況でも大丈夫か。国や県への提出は可能だが、実際の現場においては大丈夫か。適宜見直しを行い、対応することが必要なのではないかと。3-5 年の見直しの記載でしっかり対応。

・施設利用率 72.67%。80%以上が適当。最低でも 70%以上を確保。個々の平均値。将来的に需要と照らし合わせ、検討する必要がある。今後、需要が伸びるために余裕があることが重要。

- ・施設の見直し。収支計画に何が反映されているのか。  
⇒管路は対応年数が 40-50 年なので含めていない。ポンプなどは 15-20 年なので対応する予算を見込んでいる。
- ・前回、審議会時に説明のありました予防的な措置、センサー点検など  
→AI 診断を予定している。過去データを活用した AI 診断を取り入れていきたいと考えている。経営戦略内の記載内容については、日々の技術進歩もことから DX の推進と記載する。
- ・下水道は、都市開発地域。その区域に降った雨水の対策を行うことが公営企業の業務。それ以外の農地については、農政で行う。
- ・農業集落排水事業の収支計画について、収益 8,926 千円 営業費用 48,248 千円と大きな赤字が毎年度継続している状況。そのエリアに修繕を行う必要があるのか。事業自体、金儲ではないが、必要な収支は確保する必要がある。下水道以外にも合併浄化槽との選択肢もある。汚水排水機能としては、下水道施設と比較しても見劣りしない程度の水準である。早くて安く、時間とお金がかからない。住民密集地で浄化槽を設置できない部分では下水道でもいいが、農林地区では浄化槽の設置も可能である。人口低密集地には、下水道はコストが高い。
- ・また、下水道事業において、水道事業から、すでに借りている 5 億を返済するお金がない。現状の収支状況では、とても成り立たない。豊見城市でも今後増えるところを優先に下水道事業を展開し、低密集地においては、下水道の代わりに合併浄化槽との選択もある。市民の皆様にご理解いただくようにすることも大事。それをやっている重要な密集地での費用的にも管理する必要性についても対応が出来ない。
- ・今後は、社会経済情勢も鑑みながらではあるが、下水道事業の今後は、もっと厳しくなる可能性がある。現時点で不採算地域での対応についての記載も検討する必要があるのではないか。
- ・接続率を上げると収入が増える。その為の努力はいかにするのは、下水道の永遠のテーマ。自助・共助・公助に沿った対応が必要。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あっせん融資、様々な補助を行っても未だ未接続はある。継続して続けること。</li> <li>・下水道敷設地域の未接続世帯など振り返ってほしい人に届かない。</li> <li>・戦略的に接続率の向上についての記載も必要</li> <li>・浄化槽の補助もある。1/3 程度設置可能。</li> <li>・処理区域の中は接続義務。高低差があるなど障壁があり、順調な接続ができない場合もある。</li> </ul>
11:20	<p>会長</p> <p>委員の皆様、ありがとうございました。</p> <p>次回、第7回の審議会において、経営戦略についての審議を行い、答申内容の精査する予定となっております。</p> <p>審議時間が十分に確保するための2日間追加の日程となっており、各委員の皆様にはご負担をおかけしておりますが、審議会も終盤となっておりますので、もうしばらく、お力をお貸しくださいますよう宜しくお願い致します。</p> <p>それでは、事務局よりその他に関する説明をお願い致します。</p>
11:25	<p>事務局</p> <p>ご審議ありがとうございました。会長よりありました通り経営戦略については、年度内で答申する方向で進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>追加日程につきましては、第7回がR6.1.18、最終の第8回がR6.2.20となっております。宜しくお願い致します。本日もありがとうございました。</p>